
2章 板橋区を特徴づける景観要素

1 板橋区の骨格となる景観要素

2 地域別の景観的特徴

2章

板橋区を特徴づける景観要素

○板橋区の骨格となる景観要素
○地域別の景観的特徴



板橋区の景観を「板橋区の骨格となる景観要素」（板橋区の個性を際立たせる、特徴的かつ重要な景観要素）と「地域別の景観的特徴」の二つのとらえ方に分けて、特徴を整理します。

二つのとらえ方

- ① 板橋区の骨格となる景観要素（板橋区の個性を際立たせる、特徴的かつ重要な景観要素）
- ② 地域別の景観的特徴

1 板橋区の骨格となる景観要素（8要素12項目）

景観要素については、地形・自然など長い歴史を経て形成され、板橋の景観の大きな特徴となっている「崖線」「川」と、板橋に住む人々が暮らしとともに形成してきた「道」「商店街」「住宅地」「公園・緑地」「農地」「工場」の8つの要素・12項目に分けて整理します。

要素		項目
崖線	▶▶	崖線（緑の自然地形と神社仏閣） 崖線（坂道の景観）
川	▶▶	川（骨格の川） 川（中小河川）
道	▶▶	街道 幹線道路
商店街	▶▶	商店街
住宅地	▶▶	戸建て住宅地 集合住宅団地
公園・緑地	▶▶	公園・緑地
農地	▶▶	農地
工場	▶▶	工場

崖線（緑の自然地形と神社仏閣）

特 徴

板橋を横断する豊かな自然地形と緑の景観

- 板橋区は荒川と多摩川にはさまれた武蔵野台地の北東端付近に位置しています。
- 地形は平均海拔 30m 前後の武蔵野台地と海拔 10m 以下の荒川の沖積低地で形成されており、板橋区の面積の 4 分の 3 は台地上にあります。
- 台地と低地との崖線は豊かな樹林地や湧水を有し、台地縁辺部に神社仏閣をはじめとした歴史的建造物等が多く残っており、板橋区の特徴的な景観を形成しています。

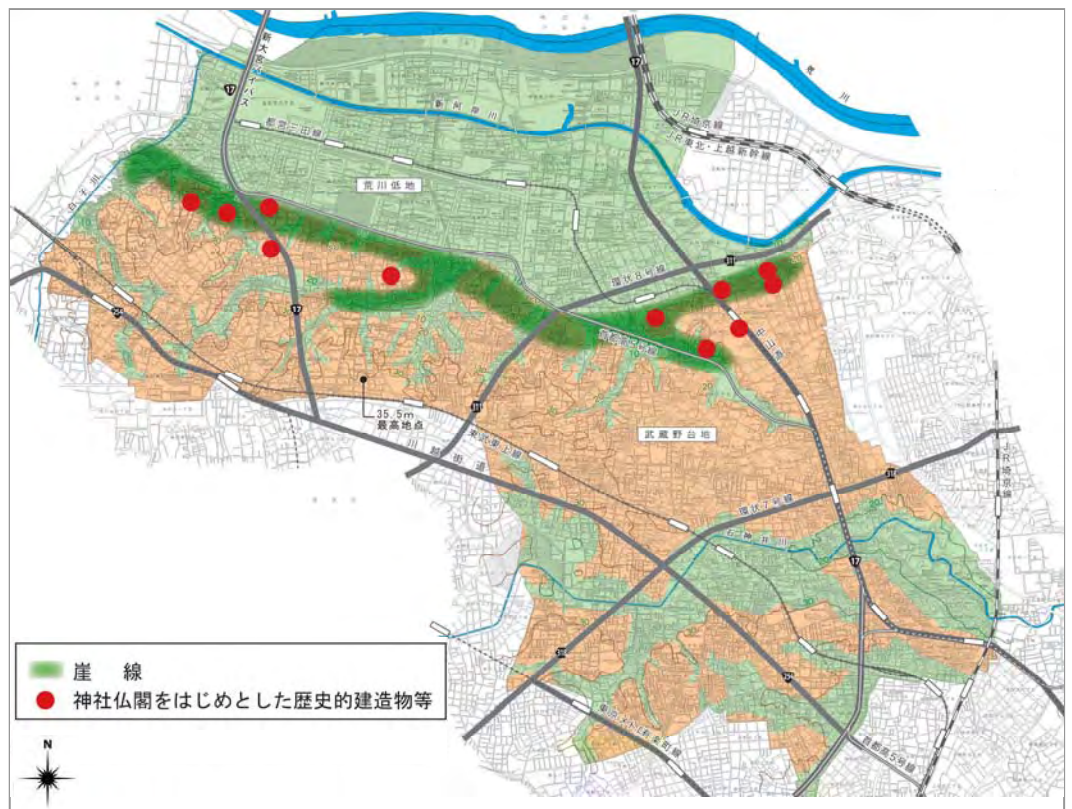


崖線に残された斜面緑地



熊野神社

対象となる位置



崖線（坂道の景観）

特 徴

まちや暮らしの今昔を感じる坂道の景観

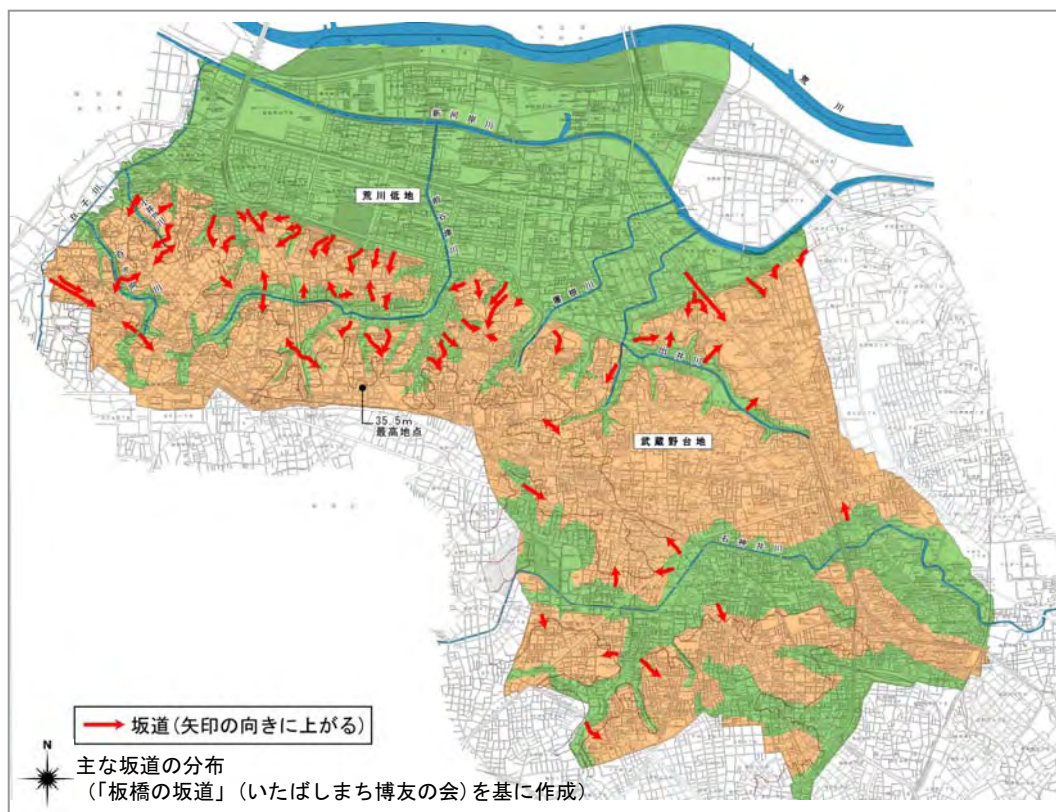
- 武蔵野台地の縁辺部などには清水坂をはじめとした、時代変遷を通して名前（愛称）がつけられた 69 の坂道が分布しています。
- 高台から住宅地などの生活風景を見下ろすことができる坂や、崖線の樹林や湧水、谷戸の面影を感じる坂が残っています。
- 坂道を通して、まちや暮らしの今昔を思い見ることができます。



西台の崖線



中台の崖線

対象と
なる
位置

川(骨格の川)

特 徴

都会の中に広がる水辺の眺望景観

- 荒川は、広大な河川敷が計画的に整備され、レクリエーション施設および水辺緑地空間として、区民が憩う空間に位置づけられています。
- いたばし花火大会は 50 年以上の歴史があり、約 50 万人が集まる板橋区の代表的イベントです。
- 広大な水面と河川敷の緑地は、広がりのある眺望景観を形成しています。

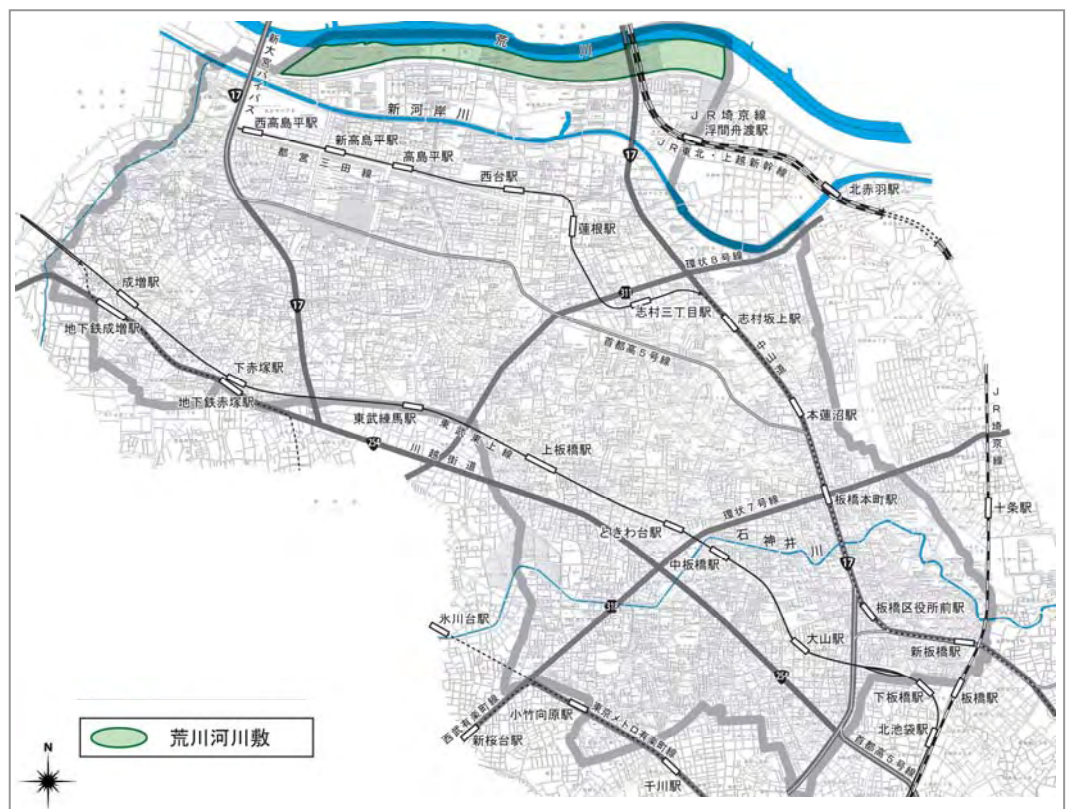


戸田橋からの荒川



夏の花火大会

対象となる位置



川(中小河川)

特 徴

板橋に季節を呼ぶ都市河川の風景

- 「区民が選んだ良い景観」※では、石神井川は抜きんでて高くなっています。
- 石神井川は深い掘込み河道で、垂直な護岸となっていますが、両岸に桜並木を主体とした緑道が整備され、川沿いには、河川改修などにより消失したかつての河川敷を生かした公園が整備されています。

※平成 18 年 6 月に行った景観アンケート(P78 参考資料を参照)より

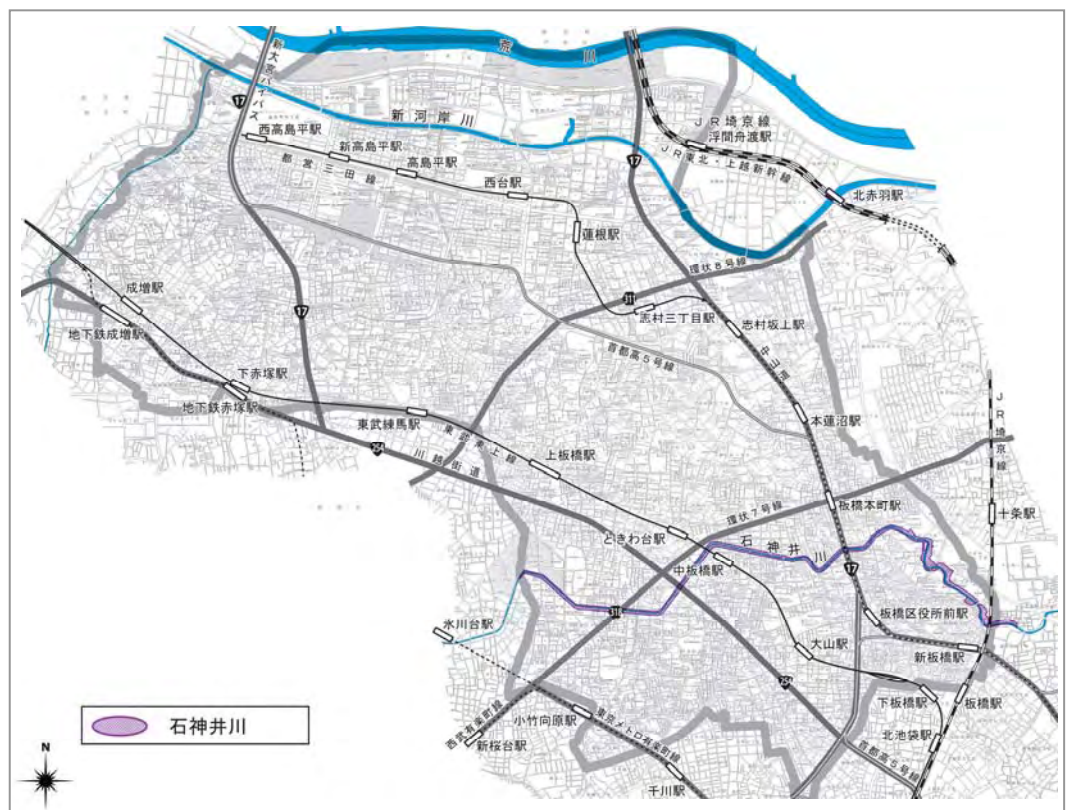


石神井川の桜並木



“板橋”周辺の風景

対象となる位置



道

街道

特 徴

街道の歴史を今に伝える“みち”景観

- 旧中山道は、現在の中山道と交互に入れ替わるように通っており、沿道にはにぎやかな商店街と歴史的な文化財があります。
- 旧中山道は「板橋十景」(P59 参照)にも選ばれている歴史的街道として、板橋区の地域活性化の拠点となっています。
- 旧川越街道は、川越街道と交互に入れ替わるように通っており、改修の歴史を伝える「五本けやき」が川越街道には残されています。

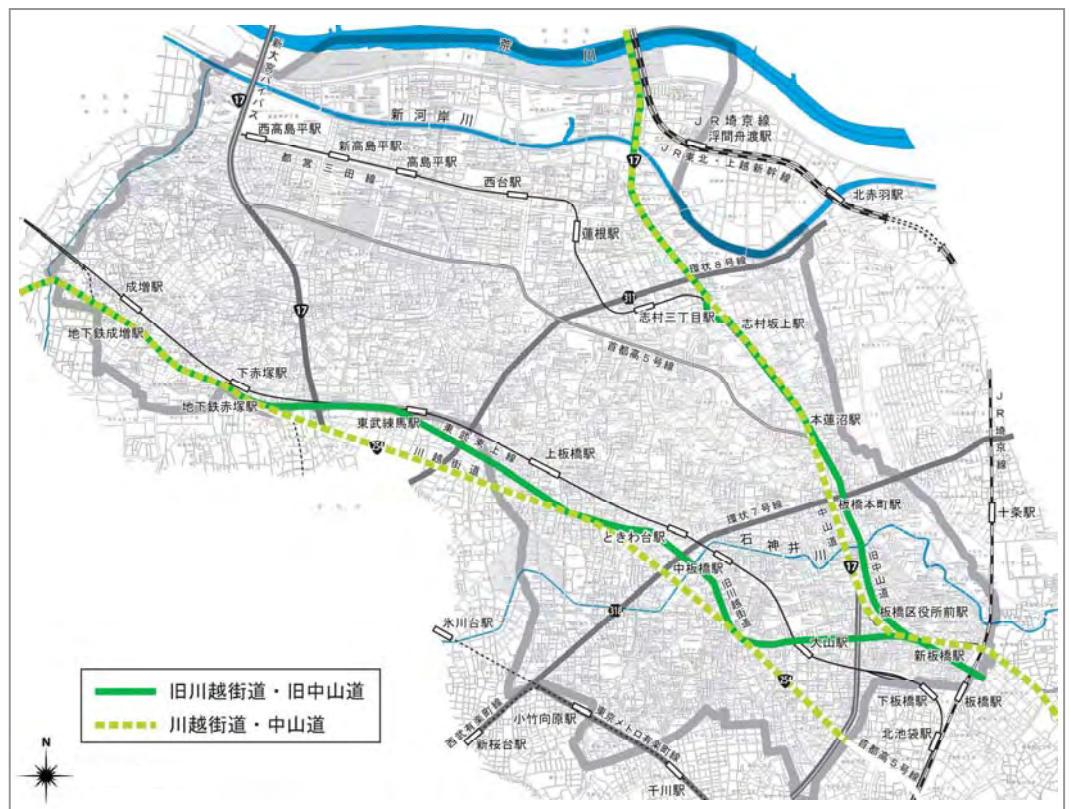


歴史を伝える“板橋”



五本けやき

対象となる位置



幹線道路

特 徴

環境に配慮した“みち”の景観軸

- 環状7号線は、板橋地域から常盤台地域を東西に横断する路線であり、沿道の土地利用は商業施設や大規模集合住宅(中高層マンション)が多くなっています。また、大規模集合住宅や沿道商業施設屋上への屋外広告物の掲出が多く見られます。
- 環状8号線は、志村地域を東西に横断する路線であり、中山道、首都高5号線と交差しています。沿道地域は大規模集合住宅や事務所としての利用が中心であり、路線を通じて道路景観に変化はあまり見られません。
- 環状7・8号線両路線ともに沿道地区計画などを定め、沿道環境の向上を図っています。

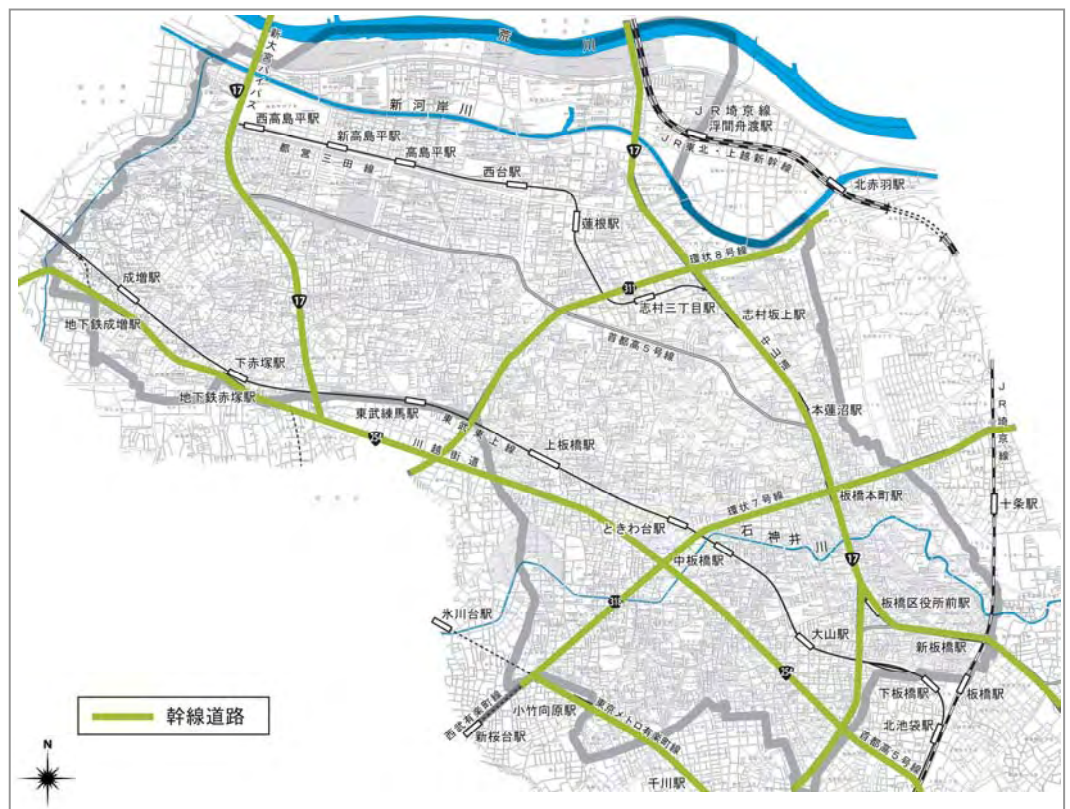


環状7号線



環状8号線

対象となる位置



商店街

特 徴

個性豊かな明るくにぎわいのある商店街

- 板橋区内には、ＪＲ埼京線、東武東上線および都営三田線の駅前商店街や旧中山道などの街道商店街が数多く見られますが、その中でも旧中山道の「板橋縁宿事業」とハッピーロード大山商店街の「アンテナショップ運営事業」とコミュニティ・レストラン®「茶の間」の開設の３つは、東京商店街グランプリを受賞しています。
- 駅前商店街などのにぎわい、活性化は景観の重要なプラス要件ですが、区内にはにぎわいの創出や活性化が十分に図られていない商店街も見られます。



ハッピーロード大山商店街

東京商店街グランプリ 3年連続受賞



グランプリ
板橋縁宿事業



グランプリ
板橋区交流都市の
アンテナショップ運営事業



準グランプリ
東京家政大学と遊座大山商店街の協働によるコ
ミュニティ・レストラン®「茶の間」の開設

対象と
なる
位置